

平成24年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

1. 平成24年度 事業計画における主要な取り組み

(1) 災害時における福祉的支援活動など赤十字施設としての役割の強化

(2) ボランティア参画による地域に必要とされる施設づくり

(3) 支部、赤十字病院等との連携による事業実施の推進



災害時における福祉的支援活動など 赤十字施設としての役割の強化

- 特別養護老人ホーム運営充実化事業交付金を活用した
災害時避難所としての受入体制充実のための備品整備
(平成23年度～25年度)

例) 小型発電機
特定小電カトランシーバー
フルリクライニング式車椅子



○ 今後の取り組み(予定)

災害時における介護チームの派遣制度の確立を検討
(東日本大震災での経験を踏まえて……)



ボランティア参画による 地域に必要とされる施設づくり

ボランティア活動者数
年間延人数

約49,000人

(赤十字奉仕団 81.3%)



25年間毎日子どもたちのお世話を続けている赤十字奉仕団（茨城県支部乳児院）

ボランティア活動者数の推移／事業計画と実績の比較(延人数) (単位:人)

	平成23年度	平成24年度	対前年度増減
事業計画	50,373	47,980	△2,393
実績	47,817	49,126	1,309
差引	△2,556	1,146	—

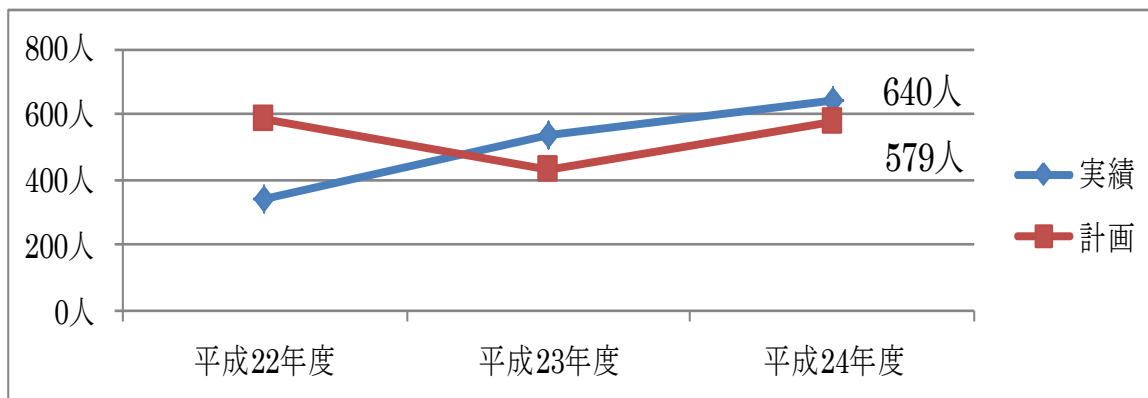
支部、赤十字病院等との連携による 事業実施の推進

○各施設の特性を生かした講習普及活動



児童福祉施設 ⇔ 幼児安全法

幼児安全法 受講者延人数



県内乳児院との合同幼児安全法講習
(日本赤十字社茨城県支部乳児院)

老人福祉施設

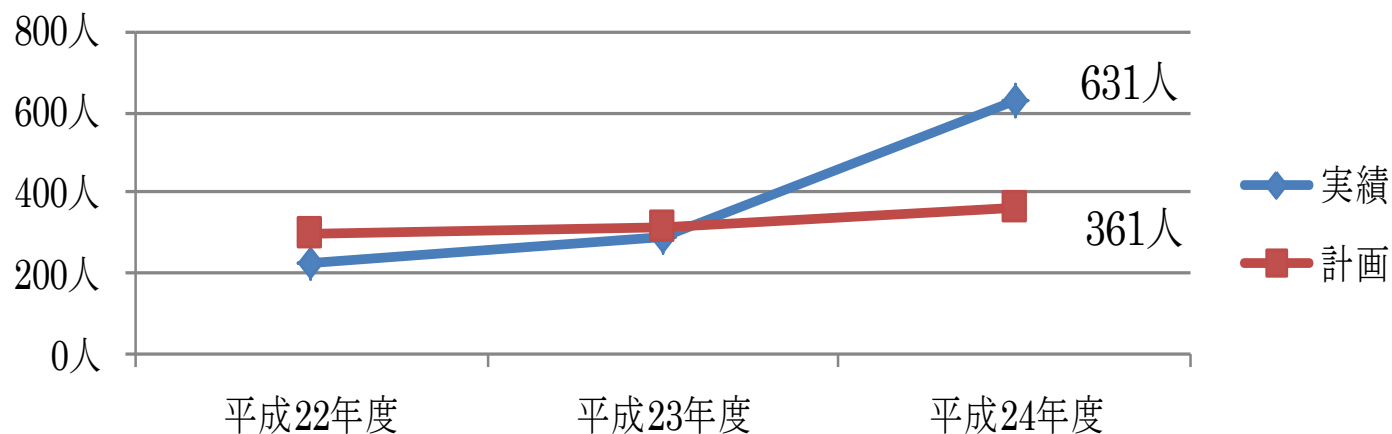


救急法、健康生活支援講習



地域の小学校で教員やPTAを対象とした
救急法講習(日赤安謝福祉複合施設)

救急法 受講者延人数



2. 地域社会での多様な社会貢献活動と 事業広報の推進

(1) こどもの命と健康を守る

○児童福祉施設 … 多様な子育て支援活動

- ・ 育児相談
- ・ 子育て講座
- ・ 育児サークル支援活動



育児体験「プレママサロン」
(秋田赤十字乳児院)



地域子育て支援「パパサークル」開催
(松江赤十字乳児院)

(2) 地域との連携

○各社会福祉施設・・・住民、自治会、小学校等と連携

- ・ シンポジウムの共催
- ・ 地域講座への職員派遣



自治会との共催による介護・医療に関する講演とシンポジウム
(特別養護老人ホーム日赤鶯鳴荘)



小学校での認知症サポーター養成講座でロールプレイを行う
(特別養護老人ホーム豊寿園)

(3) 本社・社会福祉施設で総力を上げて事業広報を強化

職員数少なく広報活動が困難

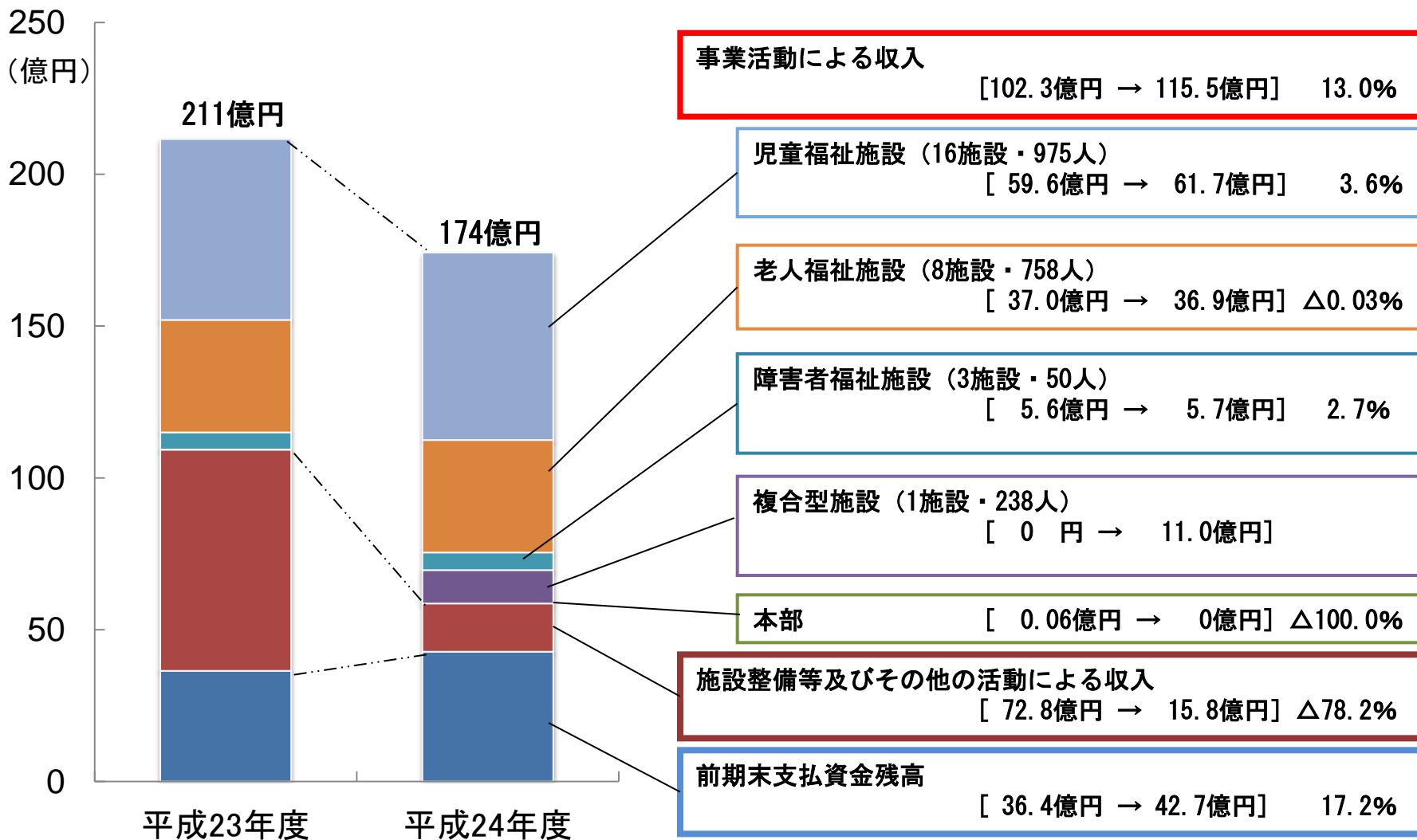
⇒ 本社ホームページを各施設の窓口に

本社ホームページの更新回数

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
2回	16回	25回	50回

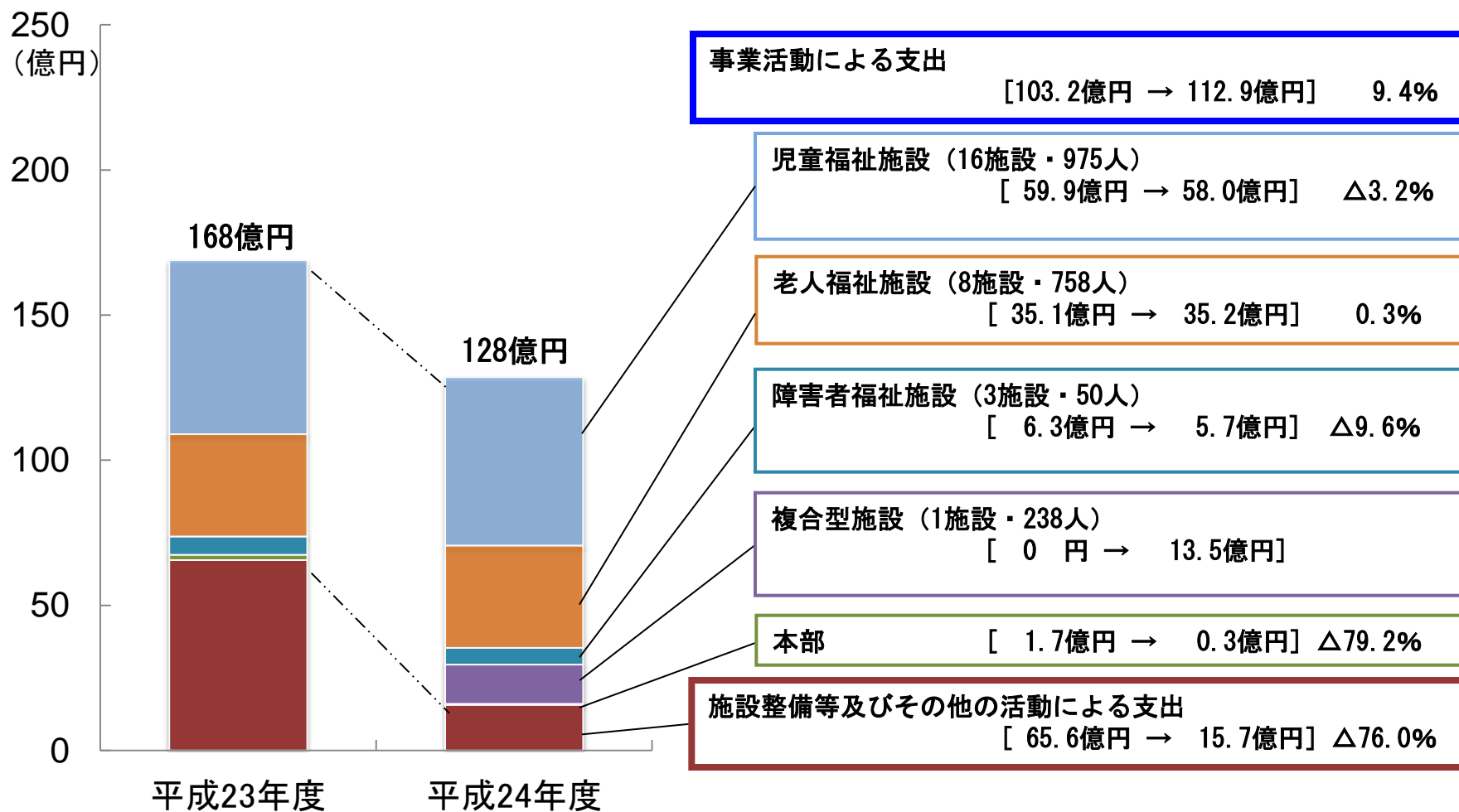


3. 社会福祉施設特別会計歳入決算のあらまし



	平成23年度	平成24年度	増減率
収入合計	211.6億円	174.2億円	△17.7%

4. 社会福祉施設特別会計歳出決算のあらまし



	平成23年度	平成24年度	増減率
支出合計	168.8億円	128.6億円	△23.8%
収入支出差引額	42.7億円	45.5億円	—